

10年、50年と時を経て

写真の持つ力が

花開く瞬間がある



“家族”をテーマに
写真を撮り続けて
四半世紀

サインにも
津市愛があふれる!



4月にオープンした浅田さん監修の「ポトガラヒーstudio」にて、広報課職員を撮影

このまち
津市で輝く

vol. 102

写真家 浅田 政志 さん

1979年津市生まれ。津工業高校、日本写真映像専門学校を経て東京で活動。2009年、写真集「浅田家」で第34回木村伊兵衛写真賞受賞。2020年、「浅田家」「アルバムのチカラ」を原案とした映画『浅田家!』が公開。趣味はガーデニング。

自分の家族を被写体にしたユニークな写真集「浅田家」で知られる浅田さんは、人気ドラマや世界的企業の広告ビジュアルも手掛ける、日本を代表する写真家だ。

写真家としての転機になったと振り返るのは、津波で汚れた写真を洗浄するボランティアに参加した、東日本大震災。大切な人をなくし、衣食住が脅かされる中で、写真を見たいという思いが溢れていた。何気ない日常を切り取った写真が、一枚、また一枚と大切に持ち帰られていく。その光景に、感じたことのなかった写真の力を見たという。

写真のデータ保管が一般的となった現代だが、浅田さんは「写真はプリントして、アルバムや額に入れて、見返してほしい」と話す。「お母さんが撮った赤ちゃんの写真を、ウェディングムービーとして式場で流したり、晩年の病室で思いを馳せたりするかもしれない。写真はさまざまな出来事と結び付き、見るタイミングによって意味を変えます。カメラに収めた時ではなく、目にした時に写真の力が花開くのだと思います」

自身の半生を描いた映画『浅田家!』が公開されたその年、写真家としての拠点を故郷・津市に移した。月の半分は全国を飛び回る多忙な日々、三重からは東西南北どこへも行きたいし、仲間がいる地元は心強いと笑う。目標は80歳になっても、愛する津市でシャッターを切り続けることだ。

津市民くらしの安心インフォメーション



医療



受診可能な医療機関を知りたいとき

三重県救急医療情報センター

☎059-229-1199

24時間

年中無休



医療ネットみえ

応急措置方法の案内や健康相談

津市救急・健康相談ダイヤル24

☎0120-840-299

24時間

年中無休

通話無料

夜間・休日の
発熱や体調不良のとき

津市の応急診療所



市ホームページ



災害

避難所



ハザードマップ

